
姉は攻略対象じゃないです

理解不能

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

姉は攻略対象じゃないです

【Zコード】

Z3560R

【作者名】

理解不能

【あらすじ】

苦労な俺と一癖も二癖もある周りの人間の青春（？）コメディ
ーストーリー。

「よく来た、我が奴隸。コーヒー牛乳とイチ」「牛乳と牛乳を三分以内に買つてこい。買つて来れなかつたらこの前の定期試験で23点だつた数学Aのテスト、校内放送でバラすから。一応もう測つているぞ」

それを聞いた瞬間、俺は回れ右をして全力ダッシュで購買へと向かつた。つうかどんだけ牛乳好きなんだよ。

俺の名前は大上 次郎。おおがみ青春真っ直中の15歳、のはずなんだが現在おもいつきりパシられている。

さつきのは俺の二個上の姉貴、大上 一花。いちか弟の俺が言うのもなんだが、俗に言う美女で、運動能力抜群で、成績優秀（と言うより百点以外はとらない）で、生徒会長で、モテる。基本俺以外は優しく（猫かぶりつて奴だ）しているので評判はいいし、年上には敬つて接する（様に見えて内心では激しく罵倒している）ため教職員からも評判はいい。

対する俺は、遺伝で髪は茶髪で目つきが悪くヤンキー風、運動能力平均で、成績不優秀で、基本周りから避けられている。仲のいい奴も数人いたが、俺の周りにいたため評判悪くなり、最終的にはみんな離れていた。実際俺はみんなに優しく接しようと努力しているのだが、どうしても怖がられ（実は裏には姉貴の暗略があつたのはつい最近知った）、年上には敬つて接しているつもりでしたが、そこを警察が見て何故か俺を逮捕させられ（これまた姉貴がその警察に何か言つたことをつい最近知った）、教職員からは評判が悪い。と言うか底辺。

一歳年下の妹もいるのだが、アイツは根っからヤンキーでよく俺の財布が軽くなる原因もある。

そんな残念な青春（というか人生）を歩みつつも、日頃頑張つてパシられています。

と言つたひな残念な弟と、完璧な姉貴の物語。

「はー、はー、はー、あ、ねき、買つてき、たぞ」

肩で息をしながら、牛乳三種類を持ち肩で息をしている見た目不良という何ともシユールな格好で屋上のドアを開ける。屋上のベンチに座っていたのは、制服を見事に着こなす美女。髪は綺麗な黒で、腰辺りまで伸びている。しかしながらマイクなんか持っているんだ? 「0・02秒遅かったな。と言つわけでのマイクから愚図な貴様の点数を発表しちゃいます」

「ちょっと待つたーつ!逆だ、逆!0・02秒早かつたぞ!」

「ちつ、バレたか」

パシリによつて鍛えられたこの体内時計を舐めるなよ!0・0001秒の差ぐらいまでなら分かるぞ!

「折角だし、全教科の点数を貴様の声真似で発表してやるつと思つたのに」

「鬼だな、姉貴!」

「まあ、それは置いといて」

置いといつていい問題なのか?俺以外なら置いといつていいような問題なんだが。

「本題なんだが、最近オス豚共からの告白が多くてな、それの厄介払いを頼む」

「男子のことをオス豚とか言つなよ!そしてそんなこと俺に頼むな!」

青春生きている男子をバカにしけやいけないと思つんだが、それつて俺だけ?

「金をやる、一千円くらい。簡単なバイトだろ?貴様は睨むだけでいいんだから」

「くつ、今度は騙されないぞ!それやつたせいで更に男子女子共々評判が下がつたんだぞ!」

前にも金に釣られてやりました、見事に。思ひ返すとビリ見ても

俺、あれ完璧ヤンキーだったな。

「元々貴様の評判何ぞ底辺とほほ同じか、底辺そのものだろ? 下がりよう無いじやないか」

「へ、否定できない・・・!」

「と言うわけで頼むな。今日の放課後、下駄箱でな

「分かったよ・・・」

残念すぎるな、俺。自分を哀れむ奴ってそんじょそいらいにないぞ。

「しかし今日は天氣がいいな。ここで弁当でも食べようかな?」

「ん、ここで昼飯食うつもりか?」

「ん、そつだけど? 一応校則じゃ食つてもいいって書いてあるけど」「ふーん」

ジト目で俺を見る姉貴。そう見てきても耐性が出来てている俺には痛くも痒くもない。いや、そんな耐性が出来た俺を考えると激しく痛いけど、特に胸辺りが。

「じゃ、私もここで食べようかな

「ん? 教室で食つんじやないの?」

「つるさい蟻共がよつてくるからな、食べるどひびじやないんだ」

「同級生をよくそこまで貶せるよな」

ジト目で姉貴を見かえしながら弁当を開けると、そこには今朝見た通りの弁当があった。内容を言つとすれば、ワインナー、卵焼き、ブロッコリー、ベーコンとほうれん草の炒め物、ミニトマト、ご飯だ。更に言つとすれば俺は一段で姉貴は一段。

「む、ワインナーはタコさんがいいつていつも言つてこむじやないか」

「『メン』『メン』。でもその代わりに今日の卵焼きはちゅうと凝つたぞ。食べてみ?」

「」の会話を聞いて分かったと思つが毎朝弁当を作つてるのは俺だ。弁当に限らず家事全般は俺がやつてこる。ちよつと両親に説あ

つて、家事は俺の仕事になつた。まあ、言わなくても分かるかと思うが他の二人は、ねえ？

姉貴は卵焼きを口に運び、その中にに入る。

「出し巻きか？」

「正解。出し出すのに時間食つちやつて、ワインナーをタコにすんの忘れてた」

しかしこの出し巻き卵でプラマイゼロ、寧ろプラスだらう。そう思つていた矢先、プライと顔を背けて口を開いた。

「ワインナーはタコさんじやないと嫌」

マジかよ！ 出し巻きじゃタコさんじやなかつた分の穴、埋められないのかよ！

「どんだけタコさん好きなんだよ・・・」

「私はタコさんワインナーと牛乳さえあれば、生きていける

栄養が偏つていると想つるのは俺だけか？ というかワインナーはタコさん限定？

「当たり前だろ！」

「地の文読むなよ姉貴！ 作者困るぞ！」

「違う。地の文を読んだんじゃない。貴様の心を読んだのだ」

「うわっ、もつと悪質！ というより人の心を読むなよ！ プライベート保護法！」

「？ 貴様にそれは適用されないのではないのか？」

「素で返すな！ 素で！ 僕は歴とした人間なんだから！」

「どうかタコさんワインナーからここまで落ちちやう俺つてどうよ。よ。

「つーそ、そうだったのか！」

「ちゃんと一足歩行じやん！ ？ ホモ・サピエンスじやん！」

「いや、でも立場は奴隸だつて一番最初に言つたではないか

「うわー、本当だー」

あ、もしかしておれ人権無い感じ？

「当たり前だ」

「さ、最悪だこの姉は！？」

俺の悲痛な叫びは空に響いていった。

放課後、約束道理下駄箱前にいると、姉貴がやってきた。

「いたのか」

「いや、いたのかって何時間待たせるつもりだよ！生徒会の会議があるんだつたら先に言つとけよ！」

そう、俺は約三時間この寒い下駄箱前に突っ立っていた。そのため三年の可愛い先輩に恐る恐る涙目で、更に震えた声で「と、通つていいですか」なんて言われても凄くショック受けました。何か後ろにも色々な三年の先輩方が陰に隠れて見てました。

「マジ、心の中が傷だらけ何すけど・・・」

「そんなことはどうでもいいのだが「いやよくねえよ！少しごらい反省しろよ！」む、少し反省しているぞ。貴様が風邪を引くと弁当が無くなってしまうくらいの反省は」

「弁当かよ！俺弁当に負けたのかよ！？」

「知っているか？人間の三大欲望は食欲、色欲、睡眠欲だ」

「うん、そうだけど」

「私は己の欲に従順だぞ？」

「うつわ、知つていたけど本人から聞くとなんかこうあれだよな」

「貴様にはボキヤブラリーがないのか、最近の小学生の方がもつとボキヤブラリーがあるぞ」

「なに言つてんのかよく分かんなかったけど、馬鹿にされていることは分かつた」

「何だと……！？貴様がそのことに気が付くとは思わなかつたぞ……！」

「俺もしかして弟つて思われていないんじゃ……」

「何を言つている次郎」

今日初めて名前で呼んだ姉貴の目は真剣なことを物語つていた。

「次郎は私の弟で、私の大切な人で、私の兄弟だ。そのことは忘れてはいけない」

「うつ、分かつたよ、姉貴」

夕焼けで赤く染まつた姉の顔を見ると、兄弟だと言うのに見とれてしまうほどの顔があつた。

それにさつき言ったことを思い出す。俺の姉貴は腹黒だけど、美女で家族思いだ。

そう思いながら帰宅するために、夕焼けに向かつて足を進めた。明日は絶対夕口さんワインナーを入れなくては、と考えながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3560r/>

姉は攻略対象じゃないです

2011年3月4日14時25分発行